



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から



令和4年8月2日 No.8

文:岡本勇人

三朝町立三朝中学校 学校だより

文部科学省からこのたび本年4月19日(火)に実施しました「全国学力・学習状況調査(3年生実施)」の結果が公表されました。

本校3年生の「教科に関する調査」結果概要は次のとおりです。なお、「質問紙調査」結果概要は、次回掲載します。

1. 平均正答率(単位:%)

| | 国語 | 数学 | 理科 |
|-----|------|------|------|
| 本校 | 71.0 | 53.0 | 52.0 |
| 鳥取県 | 68.0 | 51.0 | 49.0 |
| 全国 | 69.0 | 51.4 | 49.3 |

2. 学習指導要領の内容(平均正答率)

※ 指導改善のポイント(概要版)

参考:令和4年度全国学力・学習状況調査報告書

【国語】(単位:%)

(1) 知識及び技能

① 言葉の特徴や使い方に関する事項

本校 78.1

鳥取県 71.1

全国 72.2

② 情報の扱い方に関する事項

本校 47.9

鳥取県 44.6

全国 46.5

※ 引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、使えるようにする指導の充実を図る。

③ 我が国の言語文化に関する事項

本校 70.8

鳥取県 69.8

全国 70.2

※ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書けるようにする指導の充実を図る。

(2) 思考力・判断力・表現力等

A 話すこと・聞くこと 本校 61.8

鳥取県 63.5

全国 63.9

※ 自分の考えが分かりやすく伝わるように、工夫して話す指導の充実を図る。

B 書くこと 本校 47.9

鳥取県 44.6

全国 46.5

※ 自分の考えが分かりやすく伝わるように、根拠を明確にして書く指導の充実を図る。

C 読むこと 本校 70.8

鳥取県 66.1

全国 67.9

※ 叙述に基づいて内容を理解して読む指導の充実を図る。

【数学】(単位:%)

A 数と式 本校 57.5

鳥取県 57.1

全国 57.4

※ 整数の性質についての理解を深める活動を重視する。

※ 予想した事柄が成り立つかどうか、具体例をあげて調べる活動の充実を図る。

B 図形 本校 44.4

鳥取県 43.2

全国 43.6

※ 事柄が常に成り立つとは限らないことに、反例をあげて説明する活動を重視する。

※ 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実を図る。

C 関数 本校 44.4

鳥取県 43.5

全国 43.6

※ 伴って変わる二つの数量の変化の特徴を捉える活動を重視する。

※ 事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実を図る。

D データの活用 本校 60.4

鳥取県 56.3

全国 57.1

※ ヒストグラムの特徴を比較して読み取り、判断の理由を数学的に説明する活動を充実する。

※ 複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取る活動の充実を図る。

【理科】(単位:%)

「エネルギー」を柱とする領域

| | |
|-----|------|
| 本校 | 45.5 |
| 鳥取県 | 42.2 |
| 全国 | 41.9 |

※ 物体に働く重力とつり合う力を矢印で表す学習活動の充実を図る。

※ 考察の妥当性を高めるために、実験の計画を検討して改善する学習活動の充実を図る。

「粒子」を柱とする領域

| | |
|-----|------|
| 本校 | 54.6 |
| 鳥取県 | 50.9 |
| 全国 | 50.9 |

※ 原子や分子のモデルを基に、化学変化を化学反応式で表す学習活動の充実を図る。

※ 「粒子」を柱とする領域に関する知識及び技能を身近な現象で活用する学習活動の充実を図る。

「生命」を柱とする領域

| | |
|-----|------|
| 本校 | 61.7 |
| 鳥取県 | 57.0 |
| 全国 | 57.9 |

※ 動物の外部形態を生活場所などと関連付けて、分析して解釈する学習活動の充実を図る。

※ 課題を解決するために適切な探究の方法を検討し、探究の過程の見通しをもつ学習活動の充実を図る。

「地球」を柱とする領域

| | |
|-----|------|
| 本校 | 47.2 |
| 鳥取県 | 44.8 |
| 全国 | 44.3 |

※ 複数の観測データを天気図と関連付け、天気の変化を分析して解釈する学習活動の充実を図る。

※ 地層の傾きを主として時間的・空間的な視点で捉え、分析して解釈する学習活動の充実を図る。

〈参考〉本調査の概要について

- ◆ 国立教育政策研究所資料から抜粋
- ◆ 教科に関する調査(国語・数学・理科)
 - ・ 調査対象:国・公・私立学校の中学校第3学年
 - ・ 出題内容:下記①と②を一体的に問う。
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実

践し評価・改善する力 等

◆ 質問紙調査

- ・ 生徒質問紙:学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

「みのりある学び」×「最適な環境」×「感染症対策」

◆ 1年生は登校日です

夏休みが始まり、10日間が過ぎました。

一説によると、休み中の宿題は開始早々終わらせてしまい、残りの休みはゆっくり過ごす子どもが多いとのこと。本校生徒は、どうでしょうか。



「みのりある学び」×「最適な環境」×「感染症対策」

◆ 3年生は習熟度テストです

3年生になり4ヶ月が経過しました。1・2年の復習をしつつ、1学期の学習内容の定着度を図ってきました。なお、オンラインでテストに取り組んでいる生徒が数名います。



県版新型コロナ警報(8月2日11:00更新)で、中部地区に「警報」が発令されています。BA.5の極めて感染しやすい特性から、高い緊張感をもって感染対策の徹底を図っています。

また、7/11から中部地区には感染拡大警戒情報が発令中です。①消毒②マスク③1m④換気です。